

シンポジウム開催のお知らせ

「新たな水環境基準（透明度、底層 DO 等）の導入に向けた動きと それに対応したモニタリング・研究のあり方」

開催予定日：2015年7月24日（金）

開催場所：国立環境研究所（大山記念ホール）

主催：国立環境研究所

協賛：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

茨城県霞ヶ浦環境科学センター

近々湖沼の水質基準の改定が予定されており、底泥直上の酸素環境や湖水の透明度といった新たな指標の導入が検討されています。しかしながら、底泥直上の定義、透明度の持つ意味など、実際に測定する場合に必要な情報が研究者や調査担当者間で共有されているとは言いがたいのが現状です。

国立環境研究所では摩周湖等の湖沼において、透明度に関する長期モニタリングを実施すると共に、透明度と水質との関係に関する理論研究を行ってきました。また、底泥表層の底質の酸素消費量(SOD)や底泥間隙水の水質およびガス組成に関わる知見も近年集積されつつあり、多角的に底泥表層環境を解析することが可能になってきました。

そうした状況を踏まえて、湖沼、河川の水質関係にたずさわる研究者・担当者の皆様にご参集いただき、新たな水質基準の検討状況の報告、湖沼における透明度や底泥直上の溶存酸素のモニタリング実施例の紹介、透明度の決定機構や底泥での酸素消費に関わる研究成果の発表を行うシンポジウムの開催を計画いたしました。

参加費は無料です。興味のある方はシンポジウム事務局宛に①御所属②御名前③御連絡先（TEL、E-mail）④懇親会参加の有無をお知らせください。6月末日までにお願
いいたします。

シンポジウム事務局 sympol150724@nies.go.jp

TEL: 029-850-2733 Fax: 029-850-2569

なおご不明な点等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

国立環境研究所 地域環境研究センター 湖沼・河川環境研究室

高津文人 kohzu@nies.go.jp, 小松一弘 kkomatsu@nies.go.jp

シンポジウム

新たな水環境基準（透明度、底層 DO 等）の導入に向けた動きと それに対応したモニタリング・研究のあり方

2015 年 7 月 24 日（金）13 : 30～

於：国立環境研究所

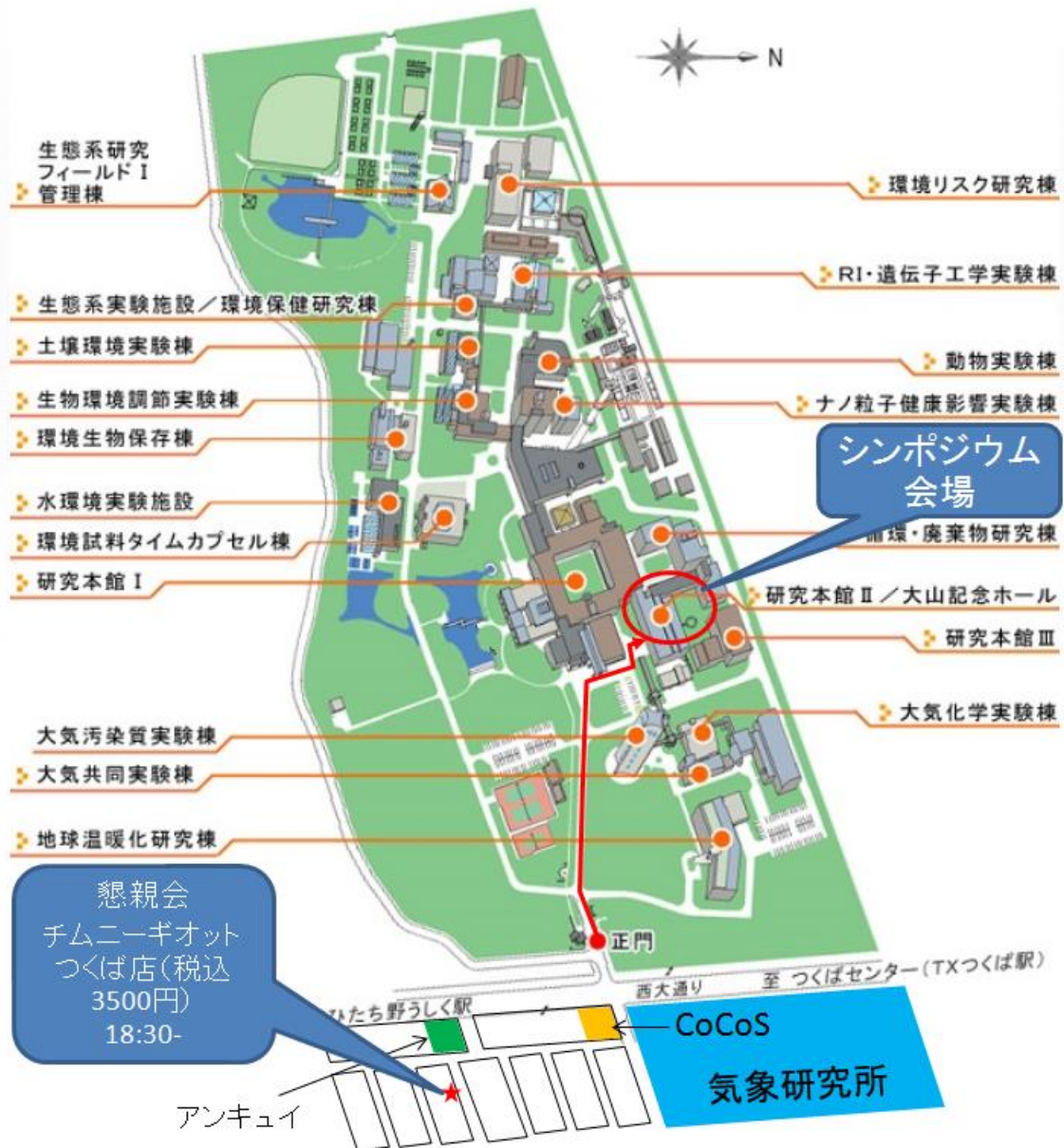
- 13:30～13:35 開会挨拶
国立環境研究所 理事長 住 明正
- 13:35～13:40 開催趣旨説明
今井 章雄（国立環境研究所）
- 13:40～14:00 新たな水質指標導入に向けた動き
柳田 貴広（環境省 水・大気環境局水環境課）
- 14:00～14:20 新たな水質指標の策定方針と課題
福島 武彦（筑波大学）
- 14:20～14:40 琵琶湖における水質の課題と新たな水質指標について
早川和秀（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
- 14:40～15:00 霞ヶ浦における透明度及び底層 DO 濃度のモニタリングについて
神谷 航一（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）
- 15:00～15:20 コーヒーブレイク
- 15:20～15:40 宍道湖における透明度・底層 DO の実態
神谷 宏（島根県保健環境科学研究所）
- 15:40～16:00 諏訪湖における透明度と底層溶存酸素の変遷
宮原 裕一（信州大学山岳科学研究所）
- 16:00～16:20 高い透明度の形成機構 ―摩周湖を例として―
田中 敦（国立環境研究所）
- 16:20～16:40 底泥表層の酸素消費速度と物理構造の解析
霜鳥 孝一・高津 文人（国立環境研究所）
- 16:40～17:10 総合討論 （司会：今井 章雄）
- 17:10～17:15 閉会挨拶
国立環境研究所 理事 原澤 英夫
- 17:15～18:00 歓談

シンポジウム

「新たな水環境基準(透明度、底層DO等)の導入に向けた動きと
それに対応したモニタリング・研究のあり方」

開催日時:2015年7月24日(金)13:30~

場所:茨城県つくば市小野川116-2 国立環境研究所
大山ホール



シンポジウム参加申し込み

新たな水環境基準（透明度、底層 DO 等）の導入に向けた動きと
それに対応したモニタリング・研究のあり方

① 御所属

② 御名前

③ 御連絡先

TEL

E-mail

④ 懇親会参加の有無 参加する 参加しない

メール(添付ファイル、ベタ打ちどちらも可です)、Fax、お電話にてお申し込みください。
6月末日までにご連絡お願いいたします。